



かぶち



令和3年11月30日

地域の貴重な宝を体感して

校長 木村 正男

11月に「ふるさと遠足」と称して、低学年は「天王山」、高学年は「岳山」へ登ってきました。かつては、「岳山」登山も実施していたようですが、10年以上実施していなかったと聞きます。神淵地区にある山であり、象徴の1つとしてそびえ立つこの山を、是非とも多くの子供たちに知ってもらいたいという願いがありました。私は、両方の山登りに参加しましたが、とても貴重な体験になりました。

天王山登山は、今までも続けている活動です。学校を出発し、第2保育園の前を通過して、龍門寺に着きトイレ休憩。その後、山道に入りました。急な勾配は少ないですが、道のりは長く、小休憩を入れながら登っていきました。子ども達は、歌を歌ったり、掛け声をかけ合ったり、しりとりをしたりしながら、楽しそうです。神淵神社に着いてからも、エネルギーに広場で遊んだり、弁当を食べたりして、山の自然を体感しました。さすがに帰りは「疲れたモード」の様子もありましたが、それでも、登るときと同様に、にぎやかに歩き、学校に到着しました。

岳山登山は、天候を心配しながらのスタートでした。しかし、予報通りに出発時間には晴れ間も見え、気持ちよく出発することができました。奥田公民館で、10名の登山ボランティアの方と対面式を行い、4つのグループに分かれた後に登山を開始しました。事前に奥田地区の方に山道を整地していただいていたので、滑りにくい道になっていましたが、やはり勾配が急で、登るのに大変な場所もありました。しかし、子ども達は「がんばって」「もう少し」「ゆっくりでもいいから」と声を掛け合いながら登っていきました。休憩タイムを挟みながらも無事に登頂できました。山頂で名古屋のツインタワーを見ることは、今回はできませんでしたが、恵那山や御嶽山などの美しい眺望を楽しむことができました。下山後、奥田公民館まで歩き、ボランティアの方も一緒に弁当をいただきました。



とても気持ちのよいひと時となりました。帰校したとき、「また登ってみたいな」という声も聞こえてきました。山登りの楽しさを実感できたのだと思い、嬉しく思いました。

どちらの山も神淵地区にある大切な場所です。自らの足で登り体験できたことは、よい経験になったと感じています。当日を迎えるまでに、道の整備や弁当の準備など、保護者の皆様をはじめ、多くの地域の方々にもご協力をいただき、この行事を終えることができました。本当にありがとうございました。五感で感じることを大切にしたい体験活動は、今後も続けていきます。どうぞ、今後とも宜しくお願いいたします。



登山を手伝っていただいたボランティアの皆様